



議会だより な お し ま

2023
No.202
令和5年1月12日

発行 ● 香川県直島町議会
編集 ● 広報編集特別委員会
電話 ● (087)892-2297
印刷 ● 山陽印刷(株)

頌春



楽しかった奈良・京都の旅（東大寺にて）

- 3年後はオーバーツーリズムになるかも(町長報告) …… 2P
- 女子の制服にスラックスを(6人が一般質問)… 6~9P
- 自閉症治療の通院費に助成を(あれ、どんなつとん!) …… 11P
- はきはきと自分の意見を述べた(中学生1日議会体験記)… 12・13P
- 赤ちゃんからお年寄りまで楽しめる教室を
(がんばりよるで) …… 14P

明けておめでとう
おめでとうございます

| | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 議 員 | 副 議 員 | 議 長 |
| 〃 〃 〃 〃 〃 〃 | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 |
| 小野 孝一 | 宮原 三郎 | 中根 清孝 |
| 西岡 裕喜 | 山上 英一 | 山下 玲子 |
| 松島 俊雄 | 浜口 敏夫 | 井下 良雄 |



小林町長

コロナ禍でも
ほどよい来場者
であった

3年後は オーバーツーリズム?

(主なもの)

- 9月10日 町民ゴルフ大会が玉野ゴルフ倶楽部で開催され、表彰式に出席しました。
- 9月22日 中電ネットワーク岡山センター所長が来庁し、荒神島送電線事故の今後の対策について説明を受けました。
- 9月23日 福武財団「新美術館」新築工事安全祈願祭が挙行され出席しました。
- 10月4日 昨年の強風で破損した黄かぼちかが復元され、草間彌生「南瓜」お披露目の会に出席しました。
- 10月6日 町と県との意見交換会に県政策部長が来庁されました。
- 10月20日 四国地方整備局高松港湾空港技術調査事務所長が来庁し、災害時における海上輸送を活用して物流などのネットワーク形成について説明を受けました。
- 11月6日 瀬戸芸2022閉幕に伴い、海の駅でつづじ太鼓の演奏などで観光客のお見送りをしました。
- 11月9日 中学校一日議会体験学習が役場議場で開催され、18件の一般質問がありました。
- 11月20日 アイランダー2022が池袋サンシャインシティで開催され参加しました。

主な質疑

送電線事故の対策は

Q (山下) 荒神島送電線事故の今後の対策は。

A (町長) 中電は、ケーブルの真ん中に印をつけるなど考えたが難しく、今後も対策を考えるとのこと。

送水管が破損のときは

Q (西岡) 海底送水管が破損したとき、

A (町長) 来年度は歩行機能の点検をやりたい。

全帯分の水量はあるか。

A (町長) 送水管は海底に埋設されているので錆での破損の可能性は少ないと思うが、万が一の場合、船舶で運搬し、鶴石受水場へのポンプアップも考える。

ミズノとの新しい連携は

Q (小野) ミズノからの申し出や町からの要望はあったか。

A (町長) 来年度は歩行機能の点検をやりたい。

最終報告の結果は

Q (松島) 岡大・ベネッセの共同研究の結果はどうだったか。

A (町長) アートや文化活動が住民に及ぼす影響は良かったとの報告だった。

相談窓口での手ごたえは

Q (西岡) アイランダーが3年ぶりに開催された。相談窓口では直島への興味や移住希望などの感触はあったか。

A (町長) 総来場者数は3年前と比較して45%の減少であったが、コ

県への要望は

A (まち観課長) 相談窓口では、業者からの相談はあったが個人からの相談はなかった。

Q (濱口) 町と県との意見交換会に政策部長が来庁した。来年度の予算要望は。

A (町長) 直島町では、子どもの医療費は高校生まで無料化している。

香川県は小学生までなので、これを県下一律に高校生まで無料化するよう要望した。その他、家族用住宅建設、横防、追出地区の急傾斜地崩壊防止対策への補助などを要望した。

瀬戸芸の感想と課題は

Q (山上) 今回の瀬戸芸全体を通しての町長の感想と次回への課題は。

A (町長) 総来場者数は3年前と比較して45%の減少であったが、コ

コロナ禍にあって、インバウンドの来場者がほとんどいなかった中、ほどよい来場であったと思う。3年後には瀬戸芸2025と関西万博も開かれる。新美術館の建設もあり、オーバーツーリズムになるかもしれない。バスを増やすなどいろいろなことを考えたい。

Q (山上) 新美術館ができたとき、周辺の交通渋滞が懸念されるがその対策は。

A (町長) 住民に迷う、いろいろなことを考えたい。



建設にとりかかった新美術館(桃山教員宿舍あと)



津山教育長

ふれんどルームの先生は優先して採用

令和5年4月 キッズポート 第三の居場所事業開所

(主なもの)

- 9月2日 直島ふれんどルーム職員を対象に、子ども第三の居場所事業が設置されることを周知しました。
- 10月13日 幼小中園長・校長の目標申告・評価制度中間面接を行ないました。
- 10月19日 令和5年度へき地教育に関する人事及び予算についての要望を県に町長とともに行ないました。
- 10月27日 西部公民館に展示している絵画を寄贈いただいた山崎とよ氏が来庁され、お礼を申し上げます。
- 11月14日 県の部活動の地域移行推進準備委員会に出席しました。
- 11月16日 一般社団法人キッズポート理事から、令和5年4月に開所される第三の居場所事業に携わる職員募集について説明を聞きました。
- 11月22日 直島ふれんどルーム職員説明会を開催し、一般社団法人キッズポート理事から第三の居場所事業のパート職員募集についての説明を聞きました。

主な質疑

第三の居場所事業の説明での反応は

Q (山上) 直島ふれんどルームの職員

の人数は。また、その周知での職員の反応などはどうだったのか。

A (教育長) 職員の人数は7人だ。反応については、動揺され

ていた。

園・学校の目標は

Q (中根) 幼小中園長・校長の目標申告・評価は、どのような

内容か。

A (教育長) 園長か

らは、幼児の発達を促す環境・機会を大事

にすること。小学校長は、学力を育成するため、児童

主体の学習指導の取り組みを行なうこと。中学校長は、仲間づくりを大

切に、豊かな人権感覚の育成の取り組みを行なうことだ。

地域指導員の資格は

Q (西岡) 部活動の地域指導員に資格

は。

A (教育長) 資格については、国や県の補助を受けるなら資格

がある。ただ、その資格は講習会を受ければ得られる。

現在、それぞれの種目で適当な方を探している。

へき地教育に係る人事・予算要望は

Q (宮原) 先生に足りたくない人が減少し、

不足していると聞く。香川県はどうか。

A (教育長) 県でも講師等の不足がある。しかし、県に要望した

人事では、それとは関係ない。直島には必要な配置をしてもらっている。ただ、中学校の技術の先生の配置を要望した。

Q (小野) 予算面の要望はなにか。

A (教育長) へき地手当てが目減りしている

ので、その充実を要望した。

どなたの寄贈

Q (松島) 西部公民館の絵画作家と、

寄贈された二人はどのような方か。

A (教育長) 作家の小倉さんは手芸家。作品の多くは、モネの睡蓮

に関係する作品を手がけられている。寄贈の山崎さんは、地中美術館にモネの睡蓮があることから直島にといういきさつで寄贈された。兩人とも島外の方だ。

第三の居場所事業とふれんどルームは併存か

Q (松島) 第三の居場所事業とふれんど

ルームは併存するのか。

A (教育長) 第三の居場所事業は、ふれんど

ルームと同じ機能の事業である。よって第三の居場所事業が開所になるなら、ふれんどルームは行なわれない。

Q (宮原) 第三の居場所事業で職員募集をするが、ふれんど

ルームの先生方は優先して採用されるのか。

A (教育長) 優先して採用される。



寄贈の絵画
作者：小倉ゆき子氏
寄贈：山崎とよ氏

委員会レポート

11月15・16日に合同常任委員会を開催しました。

経済・民生

総務・文教

どうなる 今後のつり公園

中根 委員長

〔ふれあい診療所〕
 スプリンクラーの設置、介護医療院への移行、インボイス制度等の説明があった。看護師1人の面接を予定。

Q (中根) インボイスの件、5年間の未納加算分5%と延滞税1年分2・5%が必要だが、どのくらいか。
 ※適格請求書等保存方式
A (事務長) 5年間で1,000万円
 円くらいだと思います。

Q (山上) 介護医療院の移行を6年度からですが、介護支援専門員は本庁の保健師が兼務することで県にお願いしている。前向きな回答は出ているか。
A (課長) 出ている。

Q (松島) 価格高騰緊急支援と子育て金を補正計上。
A (事務長) 価格高騰緊急支援と子育て世帯応援給付金の対象者

Q (小野) 5歳〜11歳のワクチン接種で、副反応など出ていないか。
A (課長) 価格高騰支援が390世帯、子育て応援が370人くらいだ。

〔健康推進室〕
 ○オミクロン株対応接種経費・コロナワクチン接種体制確保事業・接種委託料・帯状疱疹ワクチン予防接種費用など補正計上。



5回目の接種

Q (室長) 熱が出たとか、腕が少し痛いとか、何人かの母親から聞いたが、重症化したという話は聞いていない。

〔建設経済課〕
 ○10月30日 コメづくりプロジェクト「稲刈り」開催
 ○町農業専門委員概要案、積浦地区宅地造成事業計画
 等の説明を受けた。

Q (井下) つり公園の改善計画は検討しているのか。
A (課長) 現在、どういう構想でやっているか調査を考えている。5年度で調査し、それを基に6年度で基本計

瀬戸内国際芸術祭2022 無事閉幕

山上 委員長

〔総務課〕
 香川県知事選挙
 8月28日
 投票数 860票
 投票率 33・35%
 18歳・19歳投票者数 34人中12人
〔まちづくり観光課〕
 瀬戸内国際2022閉幕
 秋会期来場者数 65,462人
 会期全体の来場者数 166,737人
 (前回の総来場者数)



また3年後に会いましょう

生活応援クーポン券支給事業
 コロナ禍における燃料や物価高騰などの影響を受ける町民への生活支援
 303,788人
 45%の減

Q (課長) 価格高騰支援が390世帯、子育て応援が370人くらいだ。
A (課長) 価格高騰支援が390世帯、子育て応援が370人くらいだ。

Q (課長) 価格高騰支援が390世帯、子育て応援が370人くらいだ。
A (課長) 価格高騰支援が390世帯、子育て応援が370人くらいだ。

Q (課長) 価格高騰支援が390世帯、子育て応援が370人くらいだ。
A (課長) 価格高騰支援が390世帯、子育て応援が370人くらいだ。

〔教育委員会〕
 通園バス送迎の安全対策は「通園バス一覧表」を新たに作成し、降車時等の点呼を実施することにより、幼児の所在確認を徹底している。

〔外国語指導助手の後任〕
 町内在住の2人のアメリカ国籍のネイティブの方に依頼した。
Q 2人は臨時的なものか。
A (室長) 熱が出たとか、腕が少し痛いとか、何人かの母親から聞いたが、重症化したという話は聞いていない。

〔生徒指導状況問題調査〕
 4月から新しいALTを迎えるよう調整している。

Q 新聞報道によると県内のいじめなどの状況は増加傾向にあるが、当町の状況は。
A 小中ともに暴力行為はない。いじめについては、最近のカウント方法の変更などにより数件確認されているが、特段懸念される状況ではない。

画、実施設計にもついで
けたらと思っっている。



つり公園 今後の計画は

〔環境水道課〕

○10月29日 環境フェスタ2022開催

○12月下旬エコアイルランド推進委員会開催予定



にぎわった環境フェスタ2022

子ども第三の居場所事業 キッズポート Lab. について

事業内容・運営資金
などについて意見交換

12月6日 定例会終了後、キッズポート理事3人から新規事業「子ども第三の居場所事業」について説明を受けた。
○名称 キッズポート Lab.
○対象者 小学生
○内容 預かりは月曜日から土曜日、下校時から18時まで、休日は8時から18時まで

日曜日はカフェのみ
○利用料金 ふれんどルームと同じ基本料金プラスおやつ代
○定員 30人
Q (山上) 休日や長い預かり時間の時、学校の体育館など利用するのは可能か。
A (教育長) 学校行事などで使っていない時なら大丈夫だ。
Q (中根) 利用料金だけで運営資金は足りるのか。
A (山岸) 利用料金だけでは全然足りない。日本財団からの補助金は3年間出るが、その後は町と議会に相談したい。
Q (中根) 併設するカフェだが、利用者は限定せず、観光客等にも開放するのか。
A (山岸) 利用客の限定はしない。Lab.の看板にカフェも入れてPRする。メニューは簡単なおやつと飲み物を考えている。



もうすぐ完成 キッズポート Lab.

Q (小野) 運営資金を確保するため、企業などに補助をお願いしては。
A (山岸) 三菱マテリアル、ベネッセなどには、すでにお願ひしている。また、町内の企業にもお願ひしようと思っっている。個人さまにもクラウドファンディングのようなかたちを考へている。
Q (松島) もし、定員の30人を超えた場合はどうするのか。
A (山岸) 当然、優先順位は決めている。
Q (中根) 最終的には抽選もあれる。
A (山岸) 一時預かりの児童は定員数には入れない。
Q (井下) 教育長が今まで何回か打ち合わせをして、今ある施設より良いものになっければ、Lab.へ移行していくと言われたが、それはクリアしているのか。
A (山岸) その面では十分クリアしていると思っっている。

その後、次の意見交換を行なった。
①行政手続きのオンライン化により何が便利になるのか。費用対効果、オンライン化のできる部分とできない部分など
②マイナンバーカードの普及促進で、町の普及率、何が変わるかなど
③デジタルデバインド対策やマイナンバーカードの普及促進等の取り組み
11月16日委員会を開催し、デジタル推進室から、町のデジタル化の取り組み状況について次の説明があった。
①行政情報データの標準化、行政手続きのオンライン化等についての基礎的な情報システム等の構築

デジタル改革
推進特別

宮原 委員長

デジタル化の取り組み
について意見交換



中根 議員



西岡 議員

現在の小型船は減便され、多くの皆さんが不自由されている。公営の交通機関でない四国汽船に進言するのは厳しいと思うが、今の定期海上交通は四国汽船一社だ。

町長から、毎日利用している皆さんの苦労や不便を説明していただき、

近年、テレビや新聞等で、行方不明になると報道されている。

このようなことから、石川県の野々市市では、子どもたちを見守る実証事業を始めており、保護者と町内会・市が連携し、効果の高い見守りの構築をしている。他の自治体

小型船、早く元のダイヤに

〔町長〕再度人員確保を申し入れる

以前のダイヤに戻るよう話をしていただきたい。

一番大きなレッドバードは今ではなく、強風が吹くと欠航している。その便で帰る予定の皆さんは帰れなくなり宿泊を余儀なくされている。

早くレッドバードを呼び戻し、欠航のない高松便にしてほしいと思う

が、町長の考えを伺う。

〔町長〕9月5日

より人手不足のため減便のダイヤ変更があり、皆さんには不便なものになっている。この現状を踏まえ、四国汽船に対して、既に協議をしている。

社長から「船員の確保ができ次第レッドバード

でも同様の検証を始めて

いる。 当町においても、万が一の事態に備え、何らかの対策が必要だと考える。

そこで9歳以下の幼小に通っている児童に、キーホルダーほどのGPS機能を持つ装置を持たせ、保護者・学校・教育委員会が管理すれば、不測の事態の際に効果を発

揮するのではないかと

また、危機管理マニュアル等を新しく策定し、安全を考慮した環境づくりが必要ではと考える。

〔教育長〕小学校の登下校時において

は、事件・事故を防止するため、入学時に全ての児童に防犯用の笛を配布し、6月の防犯教室で、警察官から指導していた

子どもの安全のためGPSを

〔教育長〕保護者各自で購入を



子どもの安全対策を

だいている。また、交通指導員や教員が通学路の敷力所で指導をしており、子どもの安全を確保している。

全国の事例はほとんどが家庭生活で発生している。このことから、迷子防止装置は必要と考える。保護者が購入し、我が子に身に付けるように指導している。

GPS機能付きの迷子防止装置は、初期対応手段としては有効だが、身に付けていなければ役に

立たない。

直島は周囲が海で隔てられており、子どもたちを地域の方がよく知っているという長所もあり、他の地域より安全性は高いと考えられる。

危機管理マニュアルについては、子どもの所在が確認できない場合は、警察等の関係機関に連絡・通報する対応になっている。



一刻も早く元のダイヤに



山上 議員



山下 議員

消防団の現状と課題は

〔町長〕 団員不足解消に努める

当町の消防は、全国で29町村（平成30年消防白書）しかない常備消防を持たない自治体であり、火災や災害などの対応については、本業を持ちながら町民のために活動していただいている消防団員の皆さんにより成り立っている。

現在まで消防団員の確保対策については、機能

別消防団員の創設や団員の定年年齢の引き上げにより対応しているが、人口減少の影響などもあり団員の確保も難しい状況ではないかと思われる。

また、職責の重さなどから本部への登用についても、現本部が努力しているところですが、なり手がいない難しい状況と聞いている。

当町における消防団の

存在は、町民の安心・安全確保のためにも大変大きなものであることから以下のことについて質問する。

①各分団の消防団員数の推移について

②団員の確保対策として今後の取り組みについて

③本部のなり手不足解消に向けた対策について以上3点について町長



幼小中合同避難訓練

の見解を伺う。

〔町長〕 ①消防団員数の推移は、昭和50年から平成元年には150人程度、平成2年から平成6年は140人程度、平成7年から令和元年では130人程度で推移しており、町外転出

派であるLGBTQ（性的少数者）を承認することは社会全体で取り組むと同時に、学校教育においても取り組むべきことと考える。

全ての児童・生徒が性別に関係なくスラックスを着用できるようにすることは実用的であり、人権教育の観点からも重要と考える。

現在、小学校では登下校中に女子児童が防寒用に長ズボンを履くことは

者の増加などにより令和4年4月1日現在で基本団員107人、機能別分団員7人の計114人と

②団員の確保対策については、町内各企業への消防活動の重要性と消防団への理解を求め勧誘を進めていく。また、毎年実施している幼小中合同避難訓練への参加を通して、子どもたちが18歳になつた時には、消防団に興味を持ってもらい入団したいと思えるように今後

も活動を継続していく。努めていきたい。

③本部のなり手不足解消に向けた対策は、現団長が令和5年3月に勇退された後は、現副団長が団長となり各分団の分団長4人が本部を兼務することに決定している。

〔町長〕 今後、移住者の方も消防団に加入することは重要であると思うので、周知に努めていきたい。

認めているが、学校ではスカートに履き替えることになっている。中学校では防寒用に登下校時や校内で長ズボンを履いたり、スカートの下に半ズボンを履いている生徒もいる。この機会に、十分検討すべきと考える。

校則に関するものは各校長の職務権限に属するため、小・中学校長が相互連携し、子どもや保護者の意見も聞きながら、ジェンダーレスの観点からもスラックス等の着用について再度検討するよう指示する。

セーラー服にスラックス



セーラー服にスラックス

女子の制服にスラックスの導入を

〔教育長〕 小・中学校長に検討を指示

ジェンダーレスという言葉が耳に馴染んできたこの頃、女子児童・女子生徒の制服をスカート一択ではなくスラックスを導入し、選択肢を増やしてはと考える。そのメリットは①動きやすい機能性の高さ②暖かい③痴漢等からの

防犯④本人が選べる楽しさ等だ。初潮の平均年齢は10歳、15歳で、小学校高学年からは特に②のメリットは大きい。近県でも既に導入している中学校が数校あり、好評だ。当町でもぜひ導入し、スクールライフを更に快

適で楽しいものにしてほしいと思う。

〔教育長〕 一人ひとりの存在を認め、尊重する人権教育は極めて重要なことと考える。性別による差別をなくし、男女が平等に生きることを認めるジェンダーレスの考え方を推進することや、性の少数

現在、小学校では登下校中に女子児童が防寒用に長ズボンを履くことは



宮原 議員

デジタルデバイドの講習会実施は

〔町長〕今年度中に開催したい

いが、担当室長は、まだ事業内容は決まっていないという説明だったが。

〔町長〕 デジタル推進室

具体的にはまだ決まっていない。それは、高齢者のニーズの把握などをしてからと考えている。

〔町長〕 今年度中にする

なら、遅れている。スピード感を持つべきだ。

〔町長〕 スピード

感には必要だが、やはりニーズを把握するのが大事だ。その辺りは担当課が十分検討する。

移住者に丁寧で

親切な説明を

以前、他の議員から「移

住希望者にもっと手厚いPRを」という一般質問があった。まったく同感だ。そこで、直島クラスで案内している空き家

人口減少・維持対策

に係る定期借家制度

私の一般質問で「定期借家制度」の周知を提言すると、町長は、今年度に個別の相談会を開催して、そこで「定期借家制度」の周知をするとの回答だった。その相談会について本年度の実施した回数として、そこで「定期借家制度」の周知をされたか。

〔町長〕 相談会は

今年度3回実施し、その相談会で定期借家制度の周知は、賃貸の相談はなく売却の相談ばかりだったので説明していない。

〔町長〕 直島クラスに

定期借家制度を掲載することで、賃貸登録物件も増えて人口増加につながると思うが。

〔町長〕 検討はする

が、できるかどうかは分からない。

定期借家制度とは

通常の借家は貸借期間が満了になっても、貸主に正当な理由がなければ借家契約は継続する。これに対して定期借家は、貸借期間が満了にな

れば、継続しなく借家の終了となる。この制度で借主は期間の満了で借家を出るというデメリットが生じるが、再契約をうまく利用することで継続できる。



定期借家制度で空き家登録物件増に



松島 議員

四国汽船への資本参加を 〔町長〕非常に困難と言わざるを得ない

そのため町政権の経営参加が必要と思う。

町民不在と感じている利用者が多数存在している。現状を変えるためには町政の資本参加による経営参加がぜひ必要である。

町長の見解を問う。

A

〔町長〕議員には町長室で、四国汽船の減便は人手不足のためと説明した。また、議員の発言は議会の議場で不適切であり、相手を侮辱するものだ。

町の多数会社は国の補助金の中で公共交通機関の責を果たしている。過去に国道フェリーと称した本四間をつないだ航路もあったが、正に四国汽船は町道としての役割そのものである。

昨今の当社の発言は言いたい放題と思える。例えば買物の手荷物は1階の仮置きは有料とする。一部手押車は有代、小型船では不可。ペットは条件付。これらの町民無視のやりたい放題を解消す

るため町政権の経営参加が必要と思う。

などの声を代弁して、人員確保を早急にして一刻も早く船便を元に戻すことを強く要望することだ。

〔町長〕非常に困難なのか。

〔町長〕それは、ノーコメントだ。

〔町長〕私が申し上げたのは、非常に難しいということだけ。議員が町長の時、なぜ買わなかったのか。その時買っておけば株主として発言権があり、非常に大きなものがある。四国汽船にもっともつと言

えるはずだ。なぜ買わなかったのか私から質問したいくらいだ。

いったニュアンスの中でどの程度の温度差か。

〔暫時休憩〕

〔議長〕ニュアンスとして云々は質問の内容が曖昧だ。町長に、やるかやらないか、質問の主旨をきちんと質問するように。

また私は、一般質問なので内容は個人の意見として尊重してきた。しかし、議員の「言いたい放題、やりたい放題」の、それらの言葉は今後慎むべきと思う。

今後、質問の内容については十分注意するようお願いする。

〔同感〕の声あり

〔会議再開〕

私の質問表現が妥当ではないとの指摘。この質問の動機は、ある町民からぜひ議会に取り上げてほしいとの意見があった。その説明として、若干強く表現した。

最後に、町長は今難しい状況にあるが、だがしかしというふうな答弁

だったと理解したいと思うが。

〔町長〕私は、だがしかしと言った

記憶はない。株の取得は大変難しいとしか答弁できない。



資本参加は大変難しい

令和4年度 補正予算

一般会計 特別会計

- 歳入
 - 国より 社会保障・税番号制度システム整備事業 439万円追加
 - 国・県より 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 80万円追加
 - 国・県より 電動車イス等購入費負担金 143万円追加
 - 前年度繰越金 1863万円追加
 - 歳出の主なもの
 - 光熱水費 883万円追加
 - 電動車イス等購入費 190万円追加
 - 社会保障・税番号制度システム改修業務 414万円追加
 - 子育て世帯生活支援特別給付金 78万円追加
 - 検診等手数料 286万円追加
 - 下水道会計へ操出金 511万円追加
 - 外国語指導助手へ委託料 135万円追加
- 歳入
 - 歳入 (診療所事業)
 - 前年度繰越金 345万円追加
 - 自由診療 225万円追加
 - 歳出
 - 光熱水費 100万円追加
 - 消耗品費 470万円追加
 - 歳入 (下水道事業)
 - 一般会計繰入金 511万円追加
 - 歳出
 - 光熱水費 511万円追加
 - 収益的支出 (簡易水道事業)
 - 鶴石と浄水場の電気代 1044万円追加
 - 資本的支出
 - 玉野・直島送水管工事負担金 4000万円追加

条例改正

直島町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

趣旨

少子高齢化が急速に進展し、若年労働者人口の減少が続いている中で、複雑化する行政課題に的確に対応し、質の高い行政サービスの維持していく必要がある。今後60歳を超える職員の能力及び経験を活用することが不可欠であり、定年の引き上げにより、能力と意欲のある職員を最大限活用しつつ、次の世代の職員に知識、技術、経験等を継承するため。

主な内容

・令和5年度から職員の定年年齢を段階的に引き上げ、令和13年度以降は65歳とする。

| 年度 | 定年年齢 |
|---------|------|
| 5・6年度 | 61歳 |
| 7・8年度 | 62歳 |
| 9・10年度 | 63歳 |
| 11・12年度 | 64歳 |
| 13・14年度 | 65歳 |

・役職定年制の導入
管理職については、原則、60歳に到達後降任とする。
・定年前再任用短時間勤務制の導入
60歳以降の勤務はフルタイムを基本とするが、本人の意向によりパートタイムとすることができ

お詫びと訂正

議会だより201号3ページ（健康推進室長）8行目の「5歳以下」は「5歳以上」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

臨時議会

2137万円追加
子育て世帯応援給付金
給付事業

758万円追加

11月22日に臨時議会を
開催し、価格高騰緊急支
援給付事業、新型コロナ
ウイルス感染症対応地方

● 新型コロナウイルスウ
クチン接種事業
1168万円追加

● 生活応援クーポン券発
行事業
4698万円追加

〔診療所会計〕

正予算及び新型コロナウ
クチン接種にかかる自由
診療費の収入増に伴い、
診療所特別会計への一般
会計からの繰入金を減額
する診療所事業特別会計
補正予算の専決処分を全
員賛成で承認した。

● 歳入
一般会計繰入金
400万円減額
自由診療雑入
400万円追加

専決処分

一般会計

● 歳入

国庫支出金

7914万円追加

繰越金

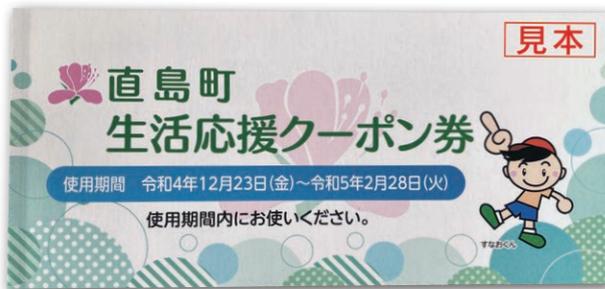
530万円追加

● 歳出

価格高騰緊急支援給付
金事業

専決処分とは

本来は議会が議決し
なければならぬ事件
を、時間的に議会の招
集を待てない緊急な場
合などに、行政運営の
遅れや滞りを防ぐた
め、例外的に町長が議
会の議決に代わり意思
決定すること。
この場合、議会への
報告と、議会の承認が
必要となる。



追跡

あれ、どんなにっとなん！

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

自閉症治療の

通院費に助成を

自閉症は小さいうちからの治療
で完治する可能性が高い。重度の
場合には治療費・通院費にある程
度の助成があるようだが、中・軽
度にはないのが現状だ。専門の病
院に通院すればそれなりの交通費
がかかり、相応の負担になってい
る。子育て支援の観点からも通院
費等に助成が必要と思うがどうか。
(令和2年3月定例議会 小野議員)

答弁

通院費の一部助成の対象者は
障害の程度が1級又は2級であ
り、知的障害の場合は、常時介
護を要する場合は重度の判定を
受けていることとなっており、
軽度については助成対象になっ
ていない。町外に行くとフェリー
代やタクシー代もかかる。他の

経過

自治体の状況等を調査し、実施
の有無を含めてどんな方法がよ
いか検討したい。
(小林町長)

令和2年3月定例会で、「自閉症
の子どもの通院費助成を」の質問
に、町長は他の自治体の状況を調
査して実施の有無を含めて検討し
たいと答弁した。その後、報告は
ないが検討したのか。やっていこ
うという気持ちはないのか。
(令和4年11月常任委員会 小野議員)

結果

県内には、軽度の子どもに対
して交通費への公的な補助を
している自治体はない。今のと
ころ補助制度は考えていない。
(住民福祉課長)

11月9日、中学3年生による1日議会が開催され、18の質問で町政を問いました。

再質問もあり、有意義な議会体験になったと思います。

皆さんに感想文を書きいただきましたが、紙面の都合上6人の生徒の感想文を紹介します。

私は今回の体験を通して、地域のことを皆で話し合って決める大切さを改めて実感しました。

私の夢は国会議員になって、世界中全ての人が明日が来ることを願うような社会を創りたいと思っています。だからこそ、今回の体験で、地域の事業に携わっている方々と議会で議論できたことは、大変光栄に思っております。

今回の体験で学んだことは、「立法」と「行政」の連携の重要性と様々な視点から、今の地域を見つめ、課題を発見する大切さです。この2つが今の直島にあるからこそ、住みやすい町が出来ていると思いました。だから、今の直島を見つめ直して自分たちが主体となってさらに改善したいと思いました。

今回このような機会を設けていただきありがとうございました。



石井 雄貴 さん

先日は、お忙しい中議会体験をさせていただき、ありがとうございました。私は、今回海岸の清掃活動について、質問させていただきました。質問をさせてもらう時は緊張しましたが、はきはきと自分の意見を述べることができました。去年は、議会見学をさせていただきました。去年とは自分の立場が違ったので、議会を別の視点で見ることができ、発言をする責任と、大切さを感じることができました。また、会議室の見学もさせていただきありがとうございました。普段は見ることができない部屋を見学させていただいたことで、議会をもっと身近なものとして感じることができました。これらの貴重な経験を、高校生活で生かしていきたいです。



河野 まるも さん

私が1日議会体験学習を通じて学んだことは2つあります。

1つ目は、立法の仕組みについてです。社会で学んだ際はある程度しか理解しておらず、議会ではどのような質疑応答が行なわれているかなどの疑問がありました。しかし、実際に議員として議会に参加することで、より立法についての関心や理解度が高まりました。また、議会は緊張感があり、町の方も丁寧に答弁してくださってとても良い経験になりました。

2つ目は、一人一人の大切さです。今回の答弁の中でも、気になった事は連絡してくださいと町の方がおっしゃってくださいました。「誰かが何かをしてくれる」という考えではなく、「自分が何をするのか」という考え方で過ごしていきたいです。そうする事で、町がもっと良い方向に動くと思います。ありがとうございました。



鳴瀬 東光 さん



橋本 心佑 さん

先日は、1日議会体験をさせていただきありがとうございました。今回の議会体験を通して、改めて直島について考えることができました。私は、ソフトテニス部の部室について質問させていただきました。質問に対して、丁寧に説明していただき納得することができました。でも、1つだけ心残りなのは再質問をすることができなかったことです。何かしら言おうと思っていたけれど、緊張して言葉にすることが難しく、質問をすることができませんでした。自分の思いを言葉で伝えることの難しさを改めて知ることができました。また、私たちのために前もって準備をしていただきありがとうございました。この体験で学んだことは、しっかりと次につなげていきたいと思います。



濱口 寛太 さん

先日は、1日議会体験をさせていただきありがとうございました。私は、議員と議長の2つの役職を務めさせていただきました。議長をするときには、リラックスしてゆっくり発言することを心がけました。議長席からは、議場の全体が見え、議場の雰囲気を感じることができました。議員として質問するときは、少し緊張しました。どのような答弁が返ってくるか気になっていましたが、詳しい答弁が返ってきて納得しました。でも、1度は再質問したかったと思いました。今回の体験を通して、直島町の事や議会について知ることができました。また、とても貴重な体験ができました。この体験を通して社会の勉強などに生かしていきたいです。これからも、政治について関心を持ち続けていきたいです。



松野 花南 さん

この度は私たちに議会体験をさせていただきありがとうございました。自分が町に対して疑問に思っていたことを直接お伺いすることができ、貴重な経験になったことを嬉しく思います。どのような答弁をされるのか不安に思っていたのですが、具体的かつ丁寧に答え頂き、安心しました。また疑問や不満も解消されました。さまざまな提案や質問に対する町の方の答弁を拝聴し、よりよい直島町にするための取り組みを知ることができました。また、対策を限られたお金で行なうことの難しさを知り、町に任せておけばよいという考えが変わりました。私たちにもできることがたくさんありました。観光客の方が楽しめ、町民にとって住みよい直島町にしていきたいために、できることが何か考えて行動に移していけるよう努力したいです。



大岸夏子さん

赤ちゃんからお年寄りまで楽しめる教室を

今回登場いただくのは
絵画教室「アトリエ・フォ

A (大岸) 4歳から10歳まで20人の生徒さんに教えています。

Q 教室はどのくらいのペースで開いていますか、場所はどこですか。

A (大岸) アート鳥センターで、月・火・木・金曜日に教えています。

Q 絵画教室としての教えることの難しさとかありますか。

A (大岸) たくさんあります。

レスト」の代表者大岸夏子さんです。大岸さん今日はよろしくお願ひします。

Q 「アトリエ・フォレスト」は、いつ頃できましたか。

A (大岸) 約3年前に、「子どもに絵を教えるのは楽しい」と知人に頼まれて始めました。

Q 現在の生徒さんの年齢、人数はどのくらいいますか。



ましたが、集中力を継続させることの難しさを痛感しました。大岸先生はどのようにして持続させていますか。

A (大岸) 子どもたちの興味や関心事に合わせていろいろ工夫していますが、集中力を保つのは

難しいですね：
Q ワークシヨップなどもされていますが、感触はどうですか。

A (大岸) 町内のさまざまなか場所でも活動できる



とがありがたいです。行政や地域の皆さまのお力添えがあつてこそです。

Q 生徒の皆さんに質問です。大岸先生に習つていて、楽しいことは何ですか。

A (岡内華子) 作つたり工作することが大好きだから楽しい。

Q 最後にありますが、読者の皆さんにメッセージ、PRなどありましたらどうぞ。

A (大岸) 赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが通える絵画教室を目指し



ています。他にもナオシマルシエや文化講座などにも時々参加していますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

大岸先生ありがとうございました。将来の直島出身アーティストが生まれることを楽しみにしています。



編集後記

「子に過ぎたる宝なし」子どもは、どんな宝よりもまさっているものである。ということわざです。

国をあげて少子化対策に取り組む一方で、一部の保育園では園児が虐待され、保育士が逮捕されるという事件が起きました。

保育士は皆、子どもが好きで、優しい先生になろうと志しています。それがどこで歪んでしまったのか。

ストレスはどんな職業の人でも抱えるものですが、その矛先が子どもに向かないよう、世界の宝を守る社会になるよう尽力したいと思うこの頃です。

(山下 記)

広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 井下 良雄 |
| 委員長 | 山下 玲子 |
| 副委員長 | 浜口 敏夫 |
| 委員 | 山上 英一 |
| | 西岡裕喜広 |
| | 中根 清孝 |
| | 宮原 三郎 |
| | 小野 孝一 |